

東京都新宿区北新宿1-8-16
 東京土建一般労働組合
 電話03 (5332) 3971 (代表)
 FAX03 (5332) 3972
 発行人・編集人
 吉川 豊

印刷部数10万9800部

(購読料は組合費のなかに含まれています)

(年間購読料 千八百円) 定価 五十円



東京土建のホームページ <http://www.tokyo-doken.or.jp/>

50才未満組合員アンケート結果
 昨年、組織的に実施して、3325人から回答を得ました。ご協力ありがとうございました。そこから見える若手組合員たちの仕事と暮らしの現状を共有します。
 (関連記事3面)

6・29 賃金・単価引き上げ 予算要求 全建総連中央総決起大会開



炎天下でボードを掲げる集会参加者

持続可能な建設産業へ

3年ぶりに全国の仲間と共に

全建総連は6月29日、3年ぶりに招集型で「賃金・単価引き上げ、予算要求中央決起集会」を開催。47県連組合1796人(東京土建は721人)が参加しました。交渉団は関係省庁との交渉を行ないました。また、午前中には全建総連東京都連で「全都建設労働者対都要請行動」を実施。5年ぶりとなる都庁第2庁舎前での集会を932人の参加で行ない、交渉団が都の関係各局との交渉を行ないました。(4面に都の局交渉、5面に省庁交渉の概要を掲載しています)

中央総決起集会の冒頭、主催者を代表して中西孝司全建総連委員長は「コロナ禍、ウクライナ情勢、物価の高騰、資材の不足・高騰等、仲間の仕事と生活に大きな影響が出ている。全建総連では4月に工務店アンケートを実施した。96%の仲間が資材価格高騰の影響を受け、その影響を60%が価格に転嫁できないと

答えている。深刻な状況だ。国の補正予算が成立したが、先行きは不透明。設計労務単価は10年連続の引き上げで、2012年度比でも57・5%の引き上げとなったが、現場で働く職人には波及していない。今日は建設労働者の仕事確保、生活防衛、健康を守る。そして何よりも持続可能で、魅力ある建設産業にしていく

本徹(共産)の国會議員が来賓として出席。建設国保への育成・強化などの要求をしつかりと受け止めるなど発言し、中西委員長から議員一人ひとりに要請書が手渡されました。

全建総連は9条 守る立場を堅持

勝野圭司書記長が基調報告。「全建総連は、この参院選を建設産業の労働環境改善、地域建設産業の活性化、建設国保の安定運営、CCUSの普及促進、大衆増税・インボイスの見直しなど重要課題の前進に向けての大切な機会ととらえ、各県連組合での奮闘と

すべての仲間の投票を呼び掛けている。参院選後の8月には各省庁による財務省への概算要求の締切という来年度の予算編成への動きが進む。概算要求に向け、賃金・単価の大幅引き上げを始め、働き方改革の推進で労働環境の改善をはかり若者の入職を促すこと、②建設国保への補助の現行水準確保、担い手の確保育成支援策を要求していく。ロシアによる軍事侵襲から4カ月がたった。大切な

要求に基づく「大会決議」を参加者の拍手で決議し、集会を終了しました。

「火災保険を土建に」という声が増えてます

損保各社は今年もまた制度改定 (10月予定)

どけん火災共済を確認しよう

東京土建

並杉 新区長・岸本氏と懇談 インボイス中止で認識一致



岸本区長(左)と鎗田登美雄委員長

岸本さんとは選挙前に杉並支部の四役が一度懇談し土建の要求を伝えていました。私たちの話にしっかり耳を傾けた岸本さんは、区長候補者討論会のなかで、消費税やインボイスにふれて、問題点が多く中止すべきだと意志表示もしていました。そして選挙後に短時間ながら2度目の懇談の機会を得ました。6月22日の2度目の懇談には中村隆幸本部執行委員長も参加しました。

【杉並・書記・喜多正之通信員】6月19日に杉並区長選挙。前回比5・5ポイント投票率があり(37・5%)、187票差で、杉並区初の女性区長の誕生となりました。

懇談のなかでは、岸本さんから建設従事者の防災面での活躍への期待が示さ



中村本部委員長

れました。そして公契約条例の実効性の向上が区民のための区政に好影響があるとの認識で一致。また、消費税やインボイスなど国政レベルで決まるものでも地域への悪影響と被害の緩和へできることは模索する、区政運営は議会との関係上も容易ではないが区民からの請願や陳情で「より具体的な」提案が区政を動かす力になるとの点でも見解が一致しました。

区民のための区政実現は「誰かに任せ」ではできません。区民の声を傾聴する区長になったからこそ、私たちの責任も重大です。

■先日の参議院選挙で「地球のために投票しよう」と呼びかけたパタゴニア。自社の社員にも投票を促すとして投票日に全直営店を閉店にしたこともあると聞く。環境や人権問題での発信にも積極的な企業だ。創業者である登山家のシェイナード氏の「責任ある企業となる努力もますます強めなければ」という言葉の実践として、労働者に誠実に向き合うことを願いたい。

■アウトドアが人気だ。自然相手の遊びは、学びも多い。ゲームやスマートフォン

■パタゴニアという人気のアウトドアブランドの日本支社で、労働組合が結成された。労組代表は、雇用期間を5年未満に制限する「不更新条項」の撤回などを求め、「服は『無駄にしない』と消費者に呼びかける一方で、働き手は『もの扱い』なのか」と訴えている。改正労働契約法では、非正規社員が同じ会社で通算5年を超えて働いた場合、本人の希望で無期雇用に変換できることになっており、「無期転換先」は許されない。



人気の自然相手の遊びは、学びも多い。ゲームやスマートフォン